

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア マ ナ
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 進 藤 博 信
(コード番号 2402 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 門 担 当 田 中 和 人
TEL : 03-3740-4011

通期業績予想の修正、並びに特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成28年2月18日に公表いたしました平成28年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正、並びに特別利益及び特別損失の計上についてお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年1月1日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	21,560	300	120	20	4.02
今回修正予想(B)	21,507	508	317	89	18.00
増減額(B-A)	△52	208	197	69	
増減率(%)	△0.2%	69.6%	164.2%	347.6%	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 12 月期)	19,645	△1,029	△1,181	△1,466	△294.83

修正の理由

当社グループでは、デジタル技術の進化やメディアの多様化によって大きく変化するマーケットに対応するためモデルの変革を行い、平成28年12月期は、この変革したモデルによる事業を展開しました。

平成28年12月期の通期連結売上高においては、想定通りの成長を続けており、当初予想値をほぼ達成するものと見込んでおります。利益面においては、提供するクリエイティブサービスの多様化に対応するため、目標とする重要指標を売上高から事業付加価値額(売上高-外注原価)に変更し、収益性にフォーカスしたマネジメントを推し進めた結果、想定を上回る生産性の向上が図られました。これによって、営業利益、経常利益については、当初予想値を上回る見込みとなりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益については、特別利益及び特別損失を計上する見込みとなりましたが当初予想値を上回る見込みとなりました。

2. 特別利益及び特別損失の計上について

(1) 特別利益の計上について

当第 4 四半期連結会計期間に発生した賃貸物件の返却に伴う受取補償金 130 百万円を特別利益に計上する見込みです。

(2) 特別損失の計上について

当第 4 四半期連結会計期間に発生した賃貸物件の返却に伴う建物付属設備等の固定資産除却損 126 百万円（連結累計期間においては固定資産除却損 139 百万円）、保有有価証券の減損処理に伴う投資有価証券評価損 55 百万円を特別損失に計上する見込みです。

(注)本資料に記載しております業績予想等につきましては現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後さまざまな要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以上